

奸策や悪意よりも誤解や怠慢が原因や

ただ一人、雄大な四方の風景を、
雄々とした気分で 眺める。

気持ちが一、一点に注がれ、
墨で その方向の風景を書き出す。

書いている画紙を、
僕の手から うばおうとして、
何度も、突風が吹く。

速く、京阪電車の走るのが見える。

細長い、箱がつながって
ゆっくと動いている。

大変、静かだ。

ただ、耳にささやく風の音と、
筆を動かす音だけが
気にかかるほど
大きく 聞こえる。

寝屋川のおじさん、お父ちゃんのお兄さんが
おとつい、九日に 死に、
今日は そのお葬式。

夜、十時頃、父、母、幹夫が帰ってきた。
お父ちゃん、だまり込んでいた。
寝屋川のおじさん、長い間、病気だった。

